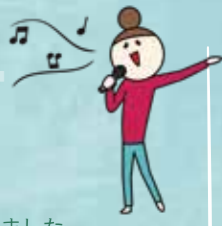


10周年を迎えた「松本ママカペラ」 育児に歌にフルパワー!



「ママが笑顔なら家族は幸せ!」。
これ以上ないくらい、家庭の理想像を表現しているフレーズと言えるのではないのでしょうか。
松本市の田川公民館を拠点に活動しているお母さん6人グループ「松本ママカペラ」の皆さん。
主婦として日々を過ごす傍らで活動を続け、結成10周年の今年は初の単独コンサートを開くほどになりました。
今回は、前向きなエネルギーにあふれているその活動ぶりを紹介します。



- やまちゃん**
信りを開き
メンバーを見守る
リーダー
- けえやん**
公民館の予約は
おまかせ!
練習会場予約担当
- ねこちゃん**
実は犬派でインコと
ハムスターも
飼っている
- ちーちゃん**
荷物の多さには
定評ある
リードボーカル
- マダちゃん**
お酒ならなんでも
もってこい!
ビール担当
- くーにゃん**
滞納は決して
許さない!
会計担当



Photo by フォトオフィス アラカウ



活動情報はこちら!!
ナガプロ アカペラ

家で孤立しがちなママさん SNS通じて集まって発足へ

その原動力はどこにあるのでしょうか。「みんなそれぞれに辞めたいと思うタイミングはあったと思うんです。でも、結局は好きで戻ってきました。ママカペラがなくなったら抜け殻になっちゃいます」と笑うのは、ねこちゃん。結成当時のメンバーは未就園児の子育てに追われていて、練習にならないことも多々あったといいます。ただでさえ結婚に伴って県外から松本平にやってきたママさんたちは、子育てで孤立しがちなもの。お茶会のように月1回集まるだけでも、メンバーにとっては有意義な時間なのです。

グループ結成は2008年。SNSでメンバーを呼びかけたところ、5、6人だった想定が17人も集まったのだといいます。歌いたいお母さんは潜在的にこれだけいたんだ」と驚き、当初はバンドを組む予定だったのをアカペラサークルに変更。当時はテレビ番組の人気コーナー「ハモネブ」でアカペラが脚光を浴びており、その影響も小さくなかったといいます。アカペラは教会音楽がルーツになっているのはゴスペルと同じですが、無伴奏で一人ひとりが異なるパートを歌うのが特徴。口で楽器の音を出したりメロディーラインを担当したりと、全員のパワーが1つに融合して初めて成り立つのです。

福祉ひろばでの発表から ゴスペル・テラス主催の 大舞台へ

活動の基盤になっているのは、松本市内の各地にある「福祉ひろば」での発表です。そこで聞きに来た人に別のイベント出演を依



頼されたりして、徐々に活動のフィールドを広げていきました。それに伴って大変なことも起こります。まずは2年前。地元「田川讃歌」ができ、地元の人と共にママカペラも参加したCDが収録されることになりました。ただ、1回目のレコーディングを終えたところで、制作者にこう言われたのです。「撮り直しますか、それとも辞めますか」。マジメに取り組んできたつもりでも、いざ音源を聴いてみると自分たちでも「悲惨でショックで、みんな無言になった」といいます。

さらにメンバーを駆り立てる出来事がありました。東日本大震災の復興支援ボランティア支援のコンサートで、全国で2枠だけの一般出演枠に選ばれたのです。主催は早稲田大学ボランティアセンター(WAVOC)で、ゴスペルが中心となって始めたもの。今までは福祉ひろばで多くて20組くらいの前で歌っていたのが、1、600人の大ホールで発表することになりました。講師を呼んで1人ひとりのボイストレーニングをしたり、全体の構成を考えたりと本格的に。ただ、その甲斐あって本番では「夢のような時間を過ごせた」といいます。「田川讃歌も、撮り直して無事に収録されました」。

全方で駆け抜けた10年 「ババカペン」にならぬぞ

こうした経験も大きな転機となり、迎えた今年。結成10周年を記念して、初めてのコンサート企画しました。「今まではイベントに呼ばれて出演していただけだったけど、今回は自分たちで告知やステージの構成などを考えないといけません。計画を立てることの大切さや色々なことを助けてもらっているんだということに改めて気付きました」。ただ、努力の甲斐あってコンサートは成功。次の10年に向けて記念碑的な時間になりま



「ママが笑顔なら家族は幸せ!」。その幸せを周囲におすそわけしながら、松本ママカペラはパワフルに日々を過ごしていきます。

「理想はババカペラになるまで続けていくことです」「アカペラ自体が浸透していないし聴いたこと集まって好きな歌を歌い、それを日常の活力にしているのはみんな同じです」。



松本市田川公民館

クリスマスソングメドレー歌いました♪
聴いてみてね★



ここからアクセス!!